

令和5(2023)年11月2日

尾道福祉専門学校
校長 邑岡 志保 様

学校関係者評価委員会
委員長 平石 朗

学校関係者評価委員会報告

令和3年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

所 属	職 名	氏 名
株式会社リクルート	ビジネスプロデューサー	加藤 茂博
社会福祉法人蓬愛会 栃木介護福祉士専門学校	教務課長	武藤 清子
尾道市福祉保健部 高齢者福祉課	課 長	柏原 美由紀
全国老人福祉施設協議会	会 長	平石 朗
尾道福祉専門学校	校 長	邑岡 志保
尾道福祉専門学校	教務主任	金子 清美
尾道福祉専門学校	教 員	重岡 秀和

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和5(2023)年10月27日(金) 11:00~12:00

会場: 尾道福祉専門学校

3 学校関係者評価委員会

別紙のとおり

別紙

I 重点目標について

1 重点目標（1）について

社会福祉法人が運営する学校としての特色を明確にし、特色に沿った授業や行事の工夫を実施し、学生の学びの多様性を創るために、今後も「体験して学ぶ」を現場と学校の行き来を増やして進めていく。学校での学びを介護現場で体験する機会を確保する。この動きを進めていくことを期待したい。

2 重点目標（2）について

キャッチフレーズ「体感しろ！～未来はもっと自由だ～」学びを現場で体感する。を、学校の特色として更に打ち出し、介護の魅力を伝えるための学校パンフレットや体験入学の工夫、が外国人の入学を進め、入学生の確保につなげてほしい。

その他

専門学校に入学生として外国人を入れていくことをコンスタントにしていきたい。また、新しい機能を付与したい。各施設の外国人を指導育成する部分を担いたい。

II 各評価項目について

1 教育理念

今後も、学校の理念・目的・育成人材等について、学生自身や保護者、法人の職員、地域の人に伝える機会をつくっていく工夫を続けていく必要があると思われる。時代に合わせて変化していくことが必要である。

2 学校運営

学生募集について、厳しい状況である。法人全体や関連分野、また自治体との連携をもって、学校の一層の努力を期待したい。入学生として外国人を入れていくことをコンスタントにしていきたい。

3 教育活動

時代に合わせて変化していくことが必要である。オンライン授業と対面授業を組み合わせ、今後もオンライン活用で授業の幅を広げていき機会を考えていく。学生のニーズに対応した学習内容の工夫や介護の魅力を伝える教育に期待したい。

4 学修成果

学生、社会人、外国人、未経験者が、いつでも効率的に教育が受けられることが求められる。今までと同じやり方がよいのか、一人も取り残さずにできる方向性があると思われる。学校では、授業について、友達との関係作り、外国人に対しては日本語の習得について、対応できるように考えていくことが必要と思われる。学生が主役であり、足りないところを足して、退学者が減ってくることを期待する。

5 学生支援

進路・就職に関する支援として、就労意欲向上や就職先選考についての助言指導の充実につなげていくことを期待する。経済的な支援として、広島県修学資金貸付や日本学生支援機構、また民間保険会社の奨学金に加え、本校独自の施設奨学金制度を設け引き続き、学業に影響しないよう生活の見守りも必要であると思われる。

6 教育環境

新型コロナウイルスによる感染予防のためのオンライン授業の環境整備を進め、有線設備を確保し安定的な授業運営を実現した。今年度は、学生が主に使用するトイレの改修を行ったが、引き続き教育環境の整備に期待する。

7 学生募集と受け入れ

本校独自の魅力ある情報・奨学制度等、詳細を掲載した内容についてパンフレット及びホームページ等でも周知に努めている。また、教育成果として就職率 100%であることもパンフレットで伝えている。学校パンフレットを活用し、校内ガイダンス等に積極的に出向き、学校の魅力を伝えていく取り組みやオープンキャンパス等で来校する学生数の増加を図るように努め効果的な広報活動で多くの学生が入学することを期待したい。

8 財務

2022 年度の入学者数から財務状況は上向きとなったが、年度途中の退学者もあり、財務状況は今後も楽観できない。介護職のイメージアップを図りながら、現役高校生の入学者を獲得するための努力がさらに必要である。

9 法令等の遵守

法令、専修学校設置基準の遵守及び個人情報保護の対策について、引き続きコンプライアンスの意識をもって取り組むことに期待したい。

10 社会貢献・地域貢献

広島県地域医療介護総合確保事業における「介護施設等における ICT 定着促進事業」の補助金を受けて、広島県介護福祉士養成施設協会が実施した、オンライン研修・シン ICT・介護ロボット体験相談会を県西部の介護福祉士養成校と本校で同時開催を行ったように、今後も県内での普及に努める活動を行うことを期待したい。

昨年に続き、新型コロナウイルスによる感染予防のため地域とのつながりが減少した状況はあったが、地域の特性やそこに暮らされている方々の生活を支える一助になるように期待したい。

III まとめ

行政と地域の活性化、医療も含む高齢化で、現場をよく知って新たな学校の形を模索する必要があると思われる。教える専門として学校の教員や学校の活用を進めたい。